大鹽平八郎事件

單

G 27
184

大塩平八郎

右五字澀谷塊一少時所書云

東京帝國大學圖書之印

B 23475

武蔵國岩槻領岡泉村

（南埼玉郡日勝村岡泉之）

組頭　丈輔事

守之郎

執筆

大塩平八郎ヲ　孫

森先生ニ謹呈ス

詰谷隗一

近来連年国々年穀不登人々難渋にくるしみ
殊ニ米二合壱匁価百銭ニ至りては白米壱匁ニ二合三勺余準しく
都鄙餓死の人有之実ニ我国始りてハ更ニ無き事也
噫乎と歎ゆ中にも人家を毀の乱妨ありて大坂市
中最甚し此騒ハ蓋大塩某人を悩ヘルの憤激ニ
發る浮世稚々伝ふ人を困しむる乱妨記事見る
如巷説ハ不変載之聞者虚實得失可考之
天保八丁酉年十二月誌

二月廿八日　従大坂去廿一日中越ゟ書付写

大坂乱暴

天保八丁酉年二月十九日朝五時出火

調保人天満与力隠居

与力　大塩平八郎

与力　同　格之助

外与力　六人程

徒党人五百人程與ニ以テ大筒ニ而致狼藉別摂州数ヶ村

其外数ヶ村拾合三ヶ村ニ而百姓集大将数三百人

區外藏書

見定之者無之凡人数五百人程大筒携火矢或ハ石火矢
之類を持去度ニ天満天神表門前ニおゐて彼町々ニ而
所々放火焼掛ケ二度ニ天神裏門前ニ而打通り又九丁目
十丁目を打通り市之側通ニ打出ル右大筒火打通りより
多く燃上り折節西風強く堀川筋東天神前残
焼掛ケ大筒を捨鑓を持其外之者ハ刀抜出候を引返し
消之難りはともに切付候ニ付御役人衆并ニ組々
所々焼浮まかし又右四日難波橋ニ而南詰ニ而
或ハ人合ハり今橋并同日ニ打通り其外上町ニ而も
彼是打通り尼崎町の町家打通り一同々燃上り申候
殊ニ眼下ニあてられ候事恐しく漸く廿日夜ニ至

火も鎮り申候 新橋ハ西ニ中筋迄不残上町ハ天満橋
筋之南ゟ本町橋筋迄 御番所ハ残り申候 御役宅焼
申候 御城代京橋ニ 御城番迄ニ 御城代与力同心屋鋪
鉄炮ニ而打取国々諸方悪人共相捕候得共大将分ハ未
手ニ入不申候 鎮り候得共大坂町家表ハ一切諸商人を茂て
人申し渡候ニ付寝食仕兼候 依而ハ
右之密事存居之御人数罷出候事

酒井雅楽頭殿
松平周防守殿
松平[illegible]守殿

右五郎儀　御預候

二月廿八日

青山因幡守殿
岡部美濃守殿

右者兼々御預ケ置候大坂ニ而召捕江戸表江差出候
何某分中鐵砲ヲ定

二月十九日

酉二月十九日鴻池屋善右衛門方ニ而中之島ニ而十九日
同二月十九日朝於町奉行所与力大塩出来候ニ付諸役人

火事時来ニ付立騒右何故ニ哉一同相分り不申候中続而
当時折ゟ天満組与力大塩平八郎家ゟ出火と申事
頃天風烈敷之節ニ候処と申候由中々之
近ニ有之候処ハ大筒等の音ニ而火之手
致し出張候時東天満ハ一条ゟ火之手ニ悪党
天照大神之旗を持候長刀ニ而人ニ而
手配りいたし大筒ニ而火出張天満
御町奉行ハ御城出役人
出国ゟ天満橋南石橋陰鉄炮
種天神橋ハ中程切落し出国
難波橋出国ハ不人橋候

十九ヶ年ニ到ル今ニ福橋辺之池はこらん橋ニ井たるへに
大筒打殺ハ寺畑時分ニまとまり其上可差申ととのまし
大筒打殺シ候て其後西南風ニ而蔵松橋ハ一面ニ大火と
相成前書之趣意ニ付於ハ大塔殺之上ニ而守候ニ門ニ而成
諸地ニ而打之中ニ而御殺手八郎ハ今ニ而手ニ入ラ事ハニ出張申

一 本日網町ニ而其之候ニ付其後見来テ此方相成ニ付而
知西之候 然ル商売人出入一方之通用ともいふへきと人相成甚居
出府ハ其蔵一方ニ而相成候 同日ニ到来御町ニ而候ニ
諸地打殺之様大騒動ニ候様ニ候しらさ候

一 大塔平八郎 一 格助 一 勝之 一 森口

一 般若 一 白井
右白井ヶ年者之森口ニ属候同ニ申候又者人相改候ニ付申送候
様其外様御町家ニ而曲輪外之者ニ付高自ニ而申上候ニ付而出張
相成候ニ而右大之通ニ入候ニ而其之様ニ相成候ニ付當今年相
知其大名ニ而格甲ニ而橋之此国ニ出居

一 諸勝之井鴻勝其外大筒打返之井呈抜居
去年七月ニ四日ニ打候之完殺返候大筒打返之井
別段之との申之人諸地打四見九死一生之候之大騒動
出候

一 町奉行所組殺ケ所ニ候ニ付之五人ニ相町奉行所ニ
相成候上ニ而白井人御国中家中迄之出張申候ニ於

右之人相紛敷者有之候ハヽ可申出者也

右当国蒲生郡日野代村并辰五郎写来り候を写也

酉二月廿九日
三月七日

公儀江　御届書付

当酉二月十九日不容易企いたし大坂天満ニ而致放火
及乱妨候元大坂町奉行組与力大塩平八郎養子格之助大塩
格之助両日潜伏いたし候処同組同心宮脇良左衛門方
美吉屋ヘ同日迄隠居五郎兵衛方ニ潜居之旨承書

一 年齢四十五六才
一 眉毛細く薄き方
一 眼細く釣り候方
一 耳並之方
一 云舌さハやかにて少し早き方
一 額細長く色白き方
一 鬢薄き月代青き方
一 鼻並之方
一 せい常体中肉
　其余之品不分
一 衣服并甲冑着用
一 其余之品ハ不分
一 黒紋陣羽織

大塩格之助

一 年齢廿七八才斗
一 せい低き方
一 眼常体
一 顔細く色黒き方
一 鼻常体
一 眉毛厚き方

一 歯上向歯並少々抜有之
一 手足之指之爪常体ニ而
一 言舌静成方

澁田源之助

一 年齢大凡四十才
一 脊高く肥肉
一 鼻高き方
一 月代薄く髪質ゆるし
一 手足之指之爪常体ニ而
一 顔丸く色浅黒き方
一 眼丸く二皮目ニ而大き方
一 眉毛厚き方
一 言舌不言成方

渡辺良助

一 年齢四十七歳
一 せい低き方
一 歯並よき方
一 言舌静かなる方
一 顔色青白き方
一 眼青
一 月代広成
一 手足之指之爪常体ニ而

近藤梶五郎

一 年齢四十余才
一 せい低き方
一 月代広成 額際少しぬけし
一 言舌広成
一 顔丸く色黒き方
一 眼丸く薄成
一 疱瘡之跡有之
一 手足之指之爪常体ニ而

佐田三義通

一 年齢四十余才
一 顔之耳つぶれ有之
一 月代広成
一 手足之指之爪常体ニ而
一 色黒ク少しやせ細方
一 眼細き方
一 言舌広成

右之通之者共見当り候ハヽ其所ニ留置早々可申出候 奉行所 下ケ札

三月九日夜四ツ時頃下谷御成道ニて [illegible] ニ而

二月十七日

公儀え　御届申上

一 当町 [illegible] 金子 [illegible] 大坂町 [illegible] 致 [illegible]
[illegible] 大坂 [illegible] 八郎 [illegible]
大井 [illegible] 人離 [illegible] 大井 [illegible] 一郎 大坂町 [illegible]
[illegible] 人相書

一 年齢廿五六才位
一 眉毛濃キ方
一 鼻高キ方

大井正一郎

一 顔細長ク色白黒キ方
一 眼居候
一 耳居候
一 言語 [illegible] 方
一 背高ク痩せ方
一 [illegible]
一 年齢四十五六才
一 [illegible]
一 中背中肉
一 言語常体

河合 [illegible]

一 顔色白キ方 [illegible]
一 眼 [illegible]
一 月代 [illegible]
一 [illegible]

右逃去候者 [illegible] 大坂町 [illegible]
下谷御成道 [illegible] 下谷 [illegible] 一郎 [illegible]

同日 [illegible]

安藤 [illegible] 大坂町 [illegible] 井 [illegible] 事 [illegible]
大坂 [illegible] 八郎 [illegible] 大坂 [illegible]

人其生れ色の偏りて人となり[illegible]傲慢甚敷[illegible]
すなはち大塩[illegible]
[illegible]して書[illegible]市中[illegible]大塩
[illegible]大塩[illegible]
前[illegible]以ぞ不可[illegible]
偶優飲宴[illegible]日[illegible]
[illegible]大塩[illegible]
[illegible]
[illegible]書籍[illegible]
[illegible]凡[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]捕[illegible]以て文[illegible]捕[illegible]
[illegible]人[illegible]大塩[illegible]
且剛[illegible]大塩最是小[illegible]
彼[illegible]回胃[illegible]
て白状せし[illegible]京大坂市中[illegible]
[illegible]文舟秘[illegible]焼す[illegible]

一

大坂海岸水底[illegible]舟入[illegible]市中[illegible]
及び[illegible]大塩[illegible]泥を揚
[illegible]泥[illegible]山[illegible]
[illegible]山[illegible]
の[illegible]せし[illegible]改[illegible]此事
天保[illegible]大[illegible]天保[illegible]せしとや

一 大塩ニ組候者共之内其後所々ニ入地下ニ而見付ケ候処

一 右遣乱妨之者共跡ニ人々ニ而焼候由関所ニ而御預ケ相成

織炮鉄屋を毀チ罷入候て数多盗取有り

右之通り

翌二月十九日朝五ツ時全ク大坂市中所々放火致し

及乱妨候ハ大塩并ニ弟子共ニ而格之助与力之者共二三十人程

平八郎与力ニ而当時ニ人数ニ而候処平八郎父子

且梅田源左衛門ハ鉄炮ニ而打留庄司義左衛門ハ召捕

又ハ自滅いたし其外之者共多く召捕有之大井正一郎召捕

右之者共ハ浪人共ニ而召捕ニ相成候

右之通

御城代土井大炊頭殿御出馬被成候

御組御役人共ハ鉄炮ニ而乱妨之者を追散らし鉄炮打払い

一 既ニ浪花橋ニ而鉄炮を打掛ケ候得共御同心打留

且又鉄炮打掛ケ候処最一ニ而乱妨之者共ハ逃去り

致され候ハ是非無之

玉井儀鉄炮ニ而撃留候ニ付鉄炮打払い

坂本鉉之助ニも鉄炮ニ而打払い

長尾ハ兵学ニ長し候

一 玉井儀坂本鉉之助ハ荻野流砲術ニ而

発足いたし候

いふ

一 大坂御城代土井大炊頭様 大坂御役人共 [illegible]

書面写

一

当月十九日朝五ツ時比ゟ[illegible]発[illegible]

[illegible]天満[illegible]二ケ所[illegible]

[illegible]火消[illegible]鉄炮[illegible]ちらし[illegible]

[illegible]火消[illegible]町[illegible]大石

[illegible]天満橋[illegible]鉄炮[illegible]

[illegible]大筒[illegible]鉄炮[illegible]

[illegible]一面[illegible]

右[illegible]大筒[illegible]

[illegible]鉄炮[illegible]

[illegible]御奉行[illegible]鉄炮[illegible]

[illegible]御奉行[illegible]

大筒[illegible]

[illegible]御城代土井大炊頭様[illegible]

今朝御城代[illegible]土井大炊頭様[illegible]

[illegible]御城代様[illegible]

[illegible]御目付[illegible]百目筒

[illegible]

[illegible]大筒[illegible]

[illegible]極楽橋[illegible]

[illegible]大筒[illegible]

[illegible]本丸[illegible]

[illegible]鉄炮[illegible]大筒[illegible]

新保町迄は[illegible]右門組京橋にて[illegible]登坂[illegible]
右四つ時過[illegible]中井[illegible]四国[illegible]
七様[illegible]京橋[illegible]大筒[illegible]
浮人殺[illegible]
口数[illegible]
四国[illegible]人殺[illegible]
橋[illegible]
目[illegible]
右[illegible]
[illegible]
の[illegible]海組[illegible]
[illegible]御巡見[illegible]

四保[illegible]十八日[illegible]一味[illegible]
重[illegible]海組[illegible]右[illegible]小泉[illegible]
[illegible]
[illegible]海組[illegible]切[illegible]小泉[illegible]
[illegible]小泉を生捕られ[illegible]一大事[illegible]京[illegible]
切[illegible]大[illegible]右組[illegible]
切殺し[illegible]四[illegible]
天照太神宮[illegible]旗[illegible]大筒[illegible]車[illegible]
[illegible]
浮[illegible]四国[illegible]
大坂は難波橋[illegible]
[illegible]金蔵[illegible]

和合れ應之と又無之大鉄炮打懸追返し[illegible]申

趣ニ候処与力坂本鉉之助[illegible]

欲ニ向ひ鉄炮ニ而敷[illegible]打払候所[illegible]人相倒れ申候

中ゟ着用之者打払申候所其節与力も敷打[illegible]者也

此度敷打之者[illegible]申候

一 大塩平八郎先年[illegible]書物[illegible]要用所ゟ百姓困窮

こゝよの施し大和[illegible]施し[illegible]

其外ニも施行いたし候[illegible]百姓共其外施人ニ[illegible]

つゝ[illegible]一統[illegible]大百[illegible]

一 大塩平八郎義[illegible]先年[illegible]

[illegible]召捕[illegible]

[illegible]

一 [illegible]大塩[illegible]

一 [illegible]一隊[illegible]鉄炮[illegible]

一 [illegible]一隊運[illegible]

[illegible]

[illegible]

いふ流風あり

右同月十七日写

大坂御城代

土井大炊頭様御下書

去月十九日浪華[illegible]

[illegible]

吉原[illegible]大塩平八郎[illegible]

笑止ニ存候段申上候処、御尤ニ思召候、強而差留候ニ付
立帰り直ニ参上仕候得ハ、手延ニ相成候而ハ不相済
思召ニ而、差延候様ニ御沙汰ニ付、御取扱被仰付候
趣ニ而、其後御沙汰無御座候ニ付、御出仕ハ御見合セ
罷在候処、[illegible]
右之趣[illegible]
立帰り[illegible]
制禁[illegible]
右之外、壱人者焼死仕候[illegible]
[illegible]
[illegible]
二月

奈良大仏頭

五月十七日
只今[illegible]
当月十九日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
五月[illegible]

一 大坂市中乱妨之刻作僧之義存寄も無之迄ニ而皆激乱いたし候中ニ果候者捨置相接候僧並之人有之ニより織説同道ニ而相寄り申合せ候人数者茂いたし内々相筆いたし候を存寄掛り置候得人数之多寡之〆ニ而樋相可いたし候所始終ふ勤之惜敷諸人ニ而更ニ性合も無之と謂ふ

一 西もり差包説

大坂織説ニ而御組頭之風大塩格之四隊長にり外ニ組大組中其ニ一隊織説平八郎ありて隊ふ菅并龍長も勝手ニ掃是様子ならふ人是も勤めし一隊有之由ニ而後ニ一隊之長助田五郎是を取いふ人皆列平左衛門一隊無之もの有りて最大小銃鋼之捨置いたし候をも能り右書之と存

一 西もり差出候

飢饉ニ付大坂市中近在困窮之者之人数少平八郎元来存寄り左様之所ニ茂有之候得共衆を集しく一己之所存中ニ困窮之者之ふ之候得ハ平八郎之人々に隠地之年ニ付而目出度き事と存しく而外豪家之者ふ施之金出候所ニ付飢饉困窮之者右之様ふ而逆之有之抔之相ニ付被下候もの饉敷と存し候所之儀ふ而右ふ示談之上海之も相之聞之存し懸念之上極而格別之利平もし平八郎之儀ニ而も莫大之事とも有之候由ニ而伝平之人々ニ而ハ之由ニ有之候平八郎様ニ而家之名ニ而ハ只之とき之たり是之内之儀を見及平八郎罷越候乃人之前ニ而憤激之余り

此三事ハ予か及はさる所の甚危説事と

一　或ハ昔正雪忠弥等ハ家臣の者ある時只時之町奉行所へ召捕し小此企露顕及ひしハ実ハ二百年もむかしの御事
十九ケ年を過召捕けしより此の大坂城代諸役人乱妨及へる八
山城守殿へ其奉行所にて盧害の日十年

一　大坂市中放火乱妨ニ付天地ニ希なる人に候ハ二月
十九日朝五ツ時より洋銃一挺郷等ニ而出て
此時に須臾に取て猟銃凡三百挺者へ拝手放火
戦に御奇一名数日其時ニ暴風の湧く事に
市中火に付動乱號泣鳥銃に郷党へとふして騒
動しける事なとてありして此大坂郷まていふ
御座候

一　或日大坂与力諸役人の御清中奉之にいる人ハ大塩平八郎
兵学の門弟より最此方に熟練せしめ是に此人
撃剣術修行之して化成せしめ此時修業して平八郎
小生ハ時々大塩か家に参り学せて可相勤に付候
是下ハ是君の為に命も捨る事けれ悲一味同志
まるてけれハ敷戴せられて別れしる平八郎に一味
せられハ師の恩義を被り又一味徒党せハ君に対し
不忠なりとて此人涙を目数せしと

私曰此論可考

御座候

一　大塩平八郎放火乱妨組徒列河内天満地外大凡凡麦
寸足上座実跡平右衛門も写し捨る回路く

惣頭　大塩平八郎（元東組与力隠居）
同所ニテ死

先鋒長　大塩格之助（東組与力平八郎養子）
同所ニテ死

殿長　瀬田済之助（東組与力）
秋日叙戦帯ニ十カ所
縊テ死ス　死ハ皃女子ノ如シ
大和国ニテ縊ル
一刀ニテ自殺

隊長名　渡辺良左衛門（東組同心）
途中ニテ切腹

近藤梶五郎　東　召捕

指揮旗持　庄司儀左衛門
同所ニテ死

（御先手組与力倅　同人ノ離縁）大井正一郎
（玉造口与力）
同　（東召捕）

鎗持

指揮筒持

〃　（カスカエ　河内国　村）植田　郎
〃　河内長兵衛
〃　忠兵衛
（摂州　東郷）西村利三郎

〃 紀州山部郷 安田 只書

〃 西村新郎

〃 喜八

〃 大助

〃 縫殿 平八郎孫也 今門平左衛門
羅漢之丙平八郎次男 平左衛門とハ人かち

〃 縫 白井孝左衛門

〃 萩田新次

〃 松山三平

〃 深尾治兵衛

〃 志村圓次

池田出羽殿[illegible] 元屋 梅本忠兵衛

三木村久四郎 梶野源左衛門

一 右組代
梶野 清七
東右衛門

松本林太夫

以拾之外
新加
惣人数合
大臣 百弐拾人半
百四拾人

諸流
大坪本流
日置流
小笠原
佐々木流
佐渡長兵衛
豊臣
曽我
捨ヶ丈郎一刻
小笠原八郎
河原八右衛門
江戸浅草辺ニ住
吉田八右衛門

右之面人要之為凡何合与兵衛より右所の者也
御守り申候
一 大坪平八郎ゟ入来ハ惠有り東雲に書ふ通へ
事もあるゝ通曉せしむる事ゆへ生所ゝにて
是を知ら人々郎ハかれハ後世之流の名代斯せしや
或人来て傳り候
御申候
一 大坪平八郎其弟子松平半左衛門傳ふ給備申し
人知るよし傳る人あり
御せり申ハ写し
一 鞍鐙之ハ大坪大郎当者河原度其の名彼此居合
世鞍師又…小椋八平八郎里沢…

[illegible]件の趣[illegible]捨[illegible]白布[illegible]
甚荒[illegible]一様[illegible]家[illegible]
[illegible]府庫[illegible]銭[illegible]
[illegible]御制[illegible]討[illegible]逃[illegible]
[illegible]御[illegible]捨[illegible]
[illegible]臨時[illegible]
大坂[illegible]大塩[illegible]海[illegible]
[illegible]
[illegible]大塩平八郎[illegible]
[illegible]捨[illegible]
[illegible]
[illegible]

一大和国[illegible]九[illegible]二十[illegible]有余[illegible]
[illegible]立会[illegible]携[illegible]
[illegible]十三[illegible]一札[illegible]

八月　松平甲斐守

去酉年大坂町奉行跡部山城守組与力大塩格之助并養父
大塩平八郎頭取徒党いたし大坂市中放火及乱妨
ニ付又甲斐守[illegible]人数差出[illegible]一段之事ニ候

右證文并書證據類相添可差上旨被仰渡候

青山因幡守

右同文言

御殿澄

大坂御代官
遠藤但馬守

右者此度御代官衛門殿御役所町奉行所ゟ被仰渡
候ニ付組之内の其外御手形代銀御差免
御勘定所江被相渡候中今日御目付相渡候旁命令可相願
右御役一件之通り無滞済候様可仰付
候 恩田内藤目付相渡候
御作候

右證文写遣候旨申渡候

御勘定吟味役
根岸肥前守

大坂諸御代官本勤之内去ル年大坂町奉行所證文
但其外大坂御代官書付大坂御奉行所證文之写
大坂御帳中諸御役所御手形付[illegible]
之上前々済候通り書付之一限壱年限可申付
申候之御役所

右證文写書證據類写遣候旨申渡

大坂御代官
池田岩之丞

去ル年大坂町奉行所諸御役所組与力大坂御代官相渡候

大坂年寄共従先規之通被仰付候ニ付大坂市中諸事取締之義

以書付遠国御用之儀ニ付委細松平摂津守殿江申上御聞済

之義一昨年以来相改可申旨申渡候

右願之通承届候付此旨申渡候

大坂町奉行

遠藤但馬守 判

同人

細川播磨殿

根岸掃部 殿

惣年寄 中

右者此度主人但馬守より申付候ニ付此段山城守殿江申上候

但馬守より被申付候趣相違無之候間御承知被成候

御下知之通諸役人共一同御手掛り之上ニ而始末被相頼候

御聞届被成候

御申付候

右願之通同相承届候

大坂町奉行

遠藤但馬守組

与力

右者此度主人山城守様より申付候

従是以申付被申候ニ付主人共罷越日限取極候趣

散乱之儀根岸掃部江御沙汰之儀御聞届候

御同人江申上候処根岸掃部殿江申上御承知被成候

為御相談差遣候由ニ而其段申上候

年番共相談之上相伺一統江申付候

但此段ハ追而可申上候

同人組与力

中島藤助

堀田摂津殿 御中

右之外ニ是迄山城守組与力之頭取支配之御合
織候ニ付同人江附洋炮打様取調精出御
用相勤候ニ付　格別骨折候ニ付是迄之通御手当
是又別段為御褒美金弐拾両被下之
但此後ハ五年目差遣候
同人組同心
山崎源四郎
稽古　物主
同人之是迄高嶋四郎太夫江附属洋炮鋳
造打様并兼而炮術諸般之儀
御取扱御用相勤候ニ付是迄之通被下置
為御褒美源之助へ金三十両被下之
但此後ハ三年目遣之事
右之通可被申渡候　井上河内守殿被仰渡候承知仕候
別紙
土井大炊頭
三月十二日被仰渡候
鈴木衛門江同人方役ニ而被仰付
御用取扱候
御手当

河内国丹南郡伴堂村庄屋 甚兵衛

大坂町奉行
備中守組同心
吉田九右衛門

同人倅
吉見安三郎

河合宇之丞孫
河合小次郎

大坂御弓奉行
上田主膳組同心
竹上万三郎

右同断組与力
大西与五郎

同人倅
大西善之進

播州中村年寄
市右衛門店
浪人 冷月

名護屋七兵衛
祐船

家主
市兵衛

同人組
右衛門
半兵衛
次兵衛
吉門
右衛門代
次兵衛
長兵衛

本
山崎町弓組与力
大伝馬町二丁目中間
高田
新石谷医師
杉本周伴
吉田章一
小松青蔵
四ッ谷居
東隆
湯島二丁目
同所店
忠兵衛
稗田小柳町
同所店
八兵衛

酒井大和守家来
山口孫三郎
石松勘之丞
赤座刀蔵
本
山城守組同心
草山助五郎店
与助
源助
浅草寺地中
遍照院
日本和代
恵光圓
代兼

去戌歳　　寛

酒井大和守
足軽
渡辺数右衛門
年四十八

何某方大西与五郎ハ揚屋入申候
一同ニ後難可恐
右
吉田兵衛へ
右之者組頭ニ舊弊之事ハ申候事ニ付
素ヨリ御存知組内勤向未熟之者ハ不相成儀

抱且前々ニ組頭中付下ニ而役儀取扱候処且ハ
向組ニ前々ヨリ年向ニ付疑敷ニ付打捨兼学官
并勤向ニ付疑敷之事ニ付随ニ而年月日組与力大目付ニ而
其上大目付方年中行事ニ而敷候処其遂之上
年々御用之事ニ而行儀法式難相成一件之筆
向々自分ニ相成之言之事ニ付世上憂ニ付候
非違ニ付大義ニ唱候王道行ヲ取扱候事計
策等ニ而奉行所ニ討取大坂御城之儀記録等　市中之
境掛之家中之御用之取扱候ニ付一旦抗議申
下之猶以之年中行事之件ニ而宜知行之撤
文書等　右之事ニ而其文言之謀方之
其宮方之事候ニ付徹底之事之有之候

右之趣一味連判いたし候條 不届之至ニ付 以上
就夫彼御家中之附 公儀御誹いたし 出入織於発起
以來右之者共依而 将吉田久兵衛並ニ 密行
而某ニ付 御法度 御穿鑿之上 重罪ニ候
此者代々加賀出入 落着

右

吉田久兵衛

河合八十郎

元禄元年 日記手控之趣相改 書文大隠居宗兵衛 方へ
出府之内 宮本 金いたし 指図大坂 丁寺ニ而 候
候中以前相改 治之 親元之外 家 兵衛 月光

一日前之儀ニ付 彼人之義御取捌 批判いたし 一通之
段之上申上之義相立 数ヶ條 公儀御奉行衆 承
数ヶ條之指図 難計 節 御法度 下々 存候 付之
其外 治候 指図之 候 内 陸奥守殿 相届 上候
一味之者共之申立 右之者 尤分り 不承 文之 候
其後 候 進之 密訴 下段 之 宮本 候
又内 存不相探 其後 越後 相 一味之 加
其 之 天下 安 重而 之 御 出
窮之 節之中 出 之者 文 河合 之 娘 味
よの 以前 御書付 吉田久兵衛 之 者 人
中々 合 發起以 以 治進 いたし 御尋 以
以前 之

但八十郎方ゟ源右衛門方へ出来候

右　作上五右衛門

去ル歳未之頃御所被仰付候 東照大権現様御書文 日

年之節逆意之企在之候ニ付其 貴殿之事掛

候義難渋及候ニ付救民之義ニ候 間 秦[illegible]大坂

御城塔 被仰付候 市中之義饒掛 窮民之御金

未宿候 為之憂申ニ候 大金一庫之御用 御蔵之砌

救之[illegible]住居之者不届之候 有之候ニ付上

御返答を相判[illegible]文書[illegible]撒文

[illegible]及一統[illegible]徹心之[illegible]有之逆源右衛門謀起之

手控[illegible]會為[illegible] 西[illegible]絶[illegible]八十郎[illegible]

不締之内済取計候儀 掛り候重科之事ニ候処 如何之家来
有之候処其上ニ紛之揚ニ所詮遂吟味候処不埒
公儀仕置之処右始末ニ不届ニ付 川江上遠島可被
仰付候旨申付

一

右

大西与五郎

右之者儀 大伝馬町 萬吉方ニ召遣候[illegible]
[illegible]日人将其子捨子取計候儀右紀内所ニ相越
其後同所長助所へ参り 猶又 親代之段相願 主方
預ケ置 平八郎ニ[illegible] 捨子取計ひ[illegible]
[illegible]及捨子捨子人[illegible] 平八郎ニ及見及ひ
捨子[illegible]有之 [illegible]捨子[illegible] 不届[illegible]

捨子人大伝馬町 萬吉ニ[illegible]ハ
[illegible]親[illegible]捨子海辺[illegible]上ハ
[illegible]拙[illegible] 下[illegible]大伝馬町
大伝馬町 平八郎[illegible] 家[illegible]日人
捨子[illegible] 生[illegible] [illegible]
[illegible] 萬[illegible] 捨子[illegible]
[illegible] 親[illegible] 萬[illegible]
[illegible] 萬吉[illegible]
[illegible] 一旦捨子[illegible] 上[illegible]
[illegible] 下役[illegible] 海中 投捨
[illegible] 仕方不届ニ付 [illegible]
遠島申付

又

[illegible]大[illegible]之節[illegible]右[illegible]

[illegible]

大西宮[illegible]

又

[illegible]大[illegible]一[illegible]

[illegible]海[illegible]尾州[illegible]

[illegible]人[illegible]

[illegible]善提寺[illegible]

又

[illegible]

太

猪助
市十郎
次三郎
長三郎

其方共も此大坂年八郎か宮島迄一味してその外の人数
[illegible]手前[illegible]上も到る人別[illegible]又[illegible]
[illegible]別[illegible]何[illegible]
[illegible]事利[illegible]外[illegible]人[illegible]所[illegible]
[illegible]
[illegible]
市十郎[illegible]

太
小松　若竟

其方義大坂町年寄組下[illegible]大坂[illegible]方[illegible]中
[illegible]大坂年八郎[illegible]宮島[illegible]企[illegible]
[illegible]
[illegible]年八郎[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八丈島放　太
恵隆

右
多賀此り　忠兵衛
　　　　　小笠原

押込　右
山縣三郎
友松勘兵衛
佐渡力蔵

一門擇別し　右
多三郎
源助

右
荒尾代蔵
原寛

一門擇別し
鈴木猪三郎
片岡平八
同　蔵

右物頭ハ滝方ニ仰付此年ハ役ニ

一
子物頭ニハ組頭ニ舊役并役革ニ老若取混之者
役革之處ハ寄合之役ニ而不足之組門勤向未熟之人ハ
物頭之寄合風俗を抱キ之のハ組頭ニ付而申合

風説取ニ寄り悪事等ハ無之候而も自然右之通無
之候ハヽ向後ニ對し前以申候へハ不及申上候而
組下之者ニ無據子細ハ有之候ハヽ打捨置ニ学問
不勤向之者ニも教示致遣随分心掛候様ニ取計
格別之取斗ニ而右風聞ニ付而も取極候事
不取ニ付而無之様ニ平常心掛候様可被仰渡候
是迄在来之儀、御取計之儀も有之候事
組中之者共ニ相談致し候而も不顧平常之節も、
其外未及見聞之儀迄心得違之者無之様一統
申渡事ニ付平常之節相心得可申候事
嚴敷心掛候而不正之大義を相守候儀、王道之儀
預り候儀被仰付候而大切成御儀ニ付

候、従前者市中ニも猥擁ニ而御座候ニ付會(?)限未ニ相成候ニ付
右ニ付而ハ一旦相極候山下ニ而も猶又相慮之上平常之節
申付置候所、[illegible]候ニ付徹文讀候而右書面ニ八無之
候ニ付[illegible]隠有之候而ハ不宜儀ニ付能々相守可申候
而も無據儀も有之候ハヽ、不念之一件迄連判ニ而申付候
御用向之儀ニ付御咎之儀ハ、門弟上ニ而も不及候
雲文對　公儀并[illegible]之儀致候而も、[illegible]候段相聞候ニ付
右條件之儀ニ付及言上候儀ニ付、相互ニ申合候而上ニも
前々之儀相守可申候、若違背之者於有之ハ、自然
以之外之事ニ有之候

〆

一　寛政二戌年閏正月廿日右之通寺社奉行[illegible]村

右之者東町奉行組元与力大塩平八郎隠居之身ニ而米價
高直ニ而民難渋之時節を見込人氣を乱し力を添難救ニ略を
思ひ立而出兵摂州兵庫西宮町村ゟ人
兼而書合置金子を与へ貰調ひ貧窮者右代令
施行いたし一己之意ニ而又ハ[illegible]顧御役
人を批判いたし救民之義と唱ひ諸人ニ付大坂
御城始市中を焼払豪家を分取金銀令下し
一旦摂兵早出天満橋焼払大砲を以[illegible]
謀議[illegible]聞而[illegible]不軌[illegible]
し不届[illegible]ニ[illegible]騒乱[illegible]
[illegible]公所[illegible]右類謀[illegible]
逆背[illegible]一味連判[illegible]

人数を加へ其外平八郎[illegible]追々一同兵具を帯し
隊を立放火百姓町人を殺害[illegible]大砲
打掛市町放火及乱妨捕人殺害いたし[illegible]
公儀を恐れず重キ[illegible]一揆[illegible]陰謀
死骸[illegible]大坂[illegible]利[illegible]死骸[illegible]
候得は日頃[illegible]以[illegible]
[illegible]一同[illegible]

一

大塩平八郎[illegible]大塩格之助[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

不顧御政道を批判いたし、重上儀を存候にて、前々より
不容易企を存、師命を稀し、恩味いたし、未本候
威伏力を以、退去難儀を重候て、難渋もの寂い仁
然とも、不致益候、又ハ猥に相成候て、乱合を
量取いたし、行者とハ不申、不益候間、まて一條連判いたし
殺人気力を耗し、多分面々書籍をも余程売払ひ
面々所一長大事文字本中抔、方金ヲ致賞ヲ調ル出銭
一己之遺恨ニ而如右代官并難渋人ハ、施をも致候
又右之者一蔵ニ依候とも、又戦乱之後、多分大金を
継不得文字とも、謂ゝ載ル檄文相成ル、為替等割符
将来孫杯ニ相成候者、計義とも、仍明計算とハ奉行
于時大坂町奉行役所、市中ニ而擾乱いたし、豪家ニ

今般窮民共大分之一旦ハ不申、一旦ハ平穏ニて猶予有之合存候
窮民ニ難渋迷惑いたし、津本能ニ至る迄及
殺害一味之者共携いたし、一同無謀之筈いたし、陰謀
不容易之文字書記、籠押之所も難渋之人数
流言を拵ひ、大坂市中及乱暴捕方役人
致対いたし、携り候而、右等之会合窮民共
徒党いたし、平穏ニ而及戦ひ、不容易之儀、捕方人数
立会之節、並大坂市中振舞、其所ニ威ハ人々
居ひ候、並に不容易、公儀御仕置を軽く
其人共携いたし、死罪、引立て上、大坂表へ召連可申

一
一
右之者共、一味之者捕へ、大坂表之御仕置

上付ケ之有之ニ付

一 將軍山田ノ宮御殿安置書之太政平ハ御前富貴宿
申付人〻宮方へ太刀し衣装ニ而門跡ニ参
宿老正一部義拂兼之宗旨[illegible]之ハ平ハ御所[illegible]
[illegible]前[illegible]付人〻芸居[illegible]文討[illegible]殿[illegible]
中[illegible]付[illegible]ハ七切数御行遣正一部[illegible]
及殺害門跡[illegible]御[illegible]平ハ御[illegible]候し
[illegible]殺[illegible]義ニ而[illegible]御[illegible]
焼拂[illegible]令[illegible]太刀ニ付加[illegible]候
[illegible]門[illegible]合七[illegible]太[illegible]
[illegible]

一 太政御所[illegible]ハ[illegible]
[illegible]太政平宗御所中[illegible]門文子[illegible]
[illegible]太刀[illegible]
[illegible]御所[illegible]文子[illegible]
[illegible]下[illegible]平宗[illegible]
[illegible]二文[illegible]
一 門七焼殺[illegible]女房[illegible]
[illegible]平ハ御文子[illegible]
[illegible]
[illegible]門[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

一 総州埴生郡海蔵寺末西光院剛嶽儀泉州堺小〇〇町
医師宗〇娘海蔵寺〇〇〇〇相宿いたし候〇〇出家之
後家娘〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
致家出同村〇〇七右衛門事利兵衛方江参候〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
後〇〇〇〇〇上〇〇剛嶽〇〇〇〇〇道〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇利兵衛〇〇
右〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
姿〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇海蔵寺〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
一〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

右之通被仰渡奉畏候

〇〇
〇〇〇〇 上平

〇二十九

死罪

百姓
○○○悴
藤三郎
当二十四

江戸追放
但居村人別帳外ニ付依之引渡遠島

守子所
百姓
藤八
当二十二

百日押込
但親類預ケ百日

百姓
○○○悴
冨三郎
当二十三

遠島

大坂屋平八妾
ゆう
当四十一

獄門　病死

地掛所
弥兵衛

遠島

同人女房
つね

病死

大坂屋○○悴
吉松

同

御○○○○○
種松
周次

新大坂門弟上様

門 日人中ケ 浅治

安堂 藤太夫

門 瓦町 俊三郎殿 仁三郎

病死 北久宝寺町 化之助

門 浄清信家 己松

門弟上
新大坂様

門 東ち丁目 万三郎

門 瓦町 金助

門 安堂 利八

門 門 栄三郎

門 門 保助

門 横多 乙治

品川

海晏山御組下人

病死

門 百姓 松右衛門

門 百姓 新兵衛

門 庄右衛門

門 寺前 春吉郎親 春右衛門

門 百姓 群次

門 九右衛門

門 百姓 忠兵衛

門 年寄 源右衛門

川上 證文殿様 上

門 百姓代 傳七

門 百姓 同人両親 国右衛門

門 醫師 文哉

海晏山御組下万

門 死 階 淋之助

同所　上郡中庄組

同組　小泉剛四郎

組　海丑兵衛

〃　近藤源五郎親　近藤権四郎

同　雲宮神主　宮脇玉摩

○ 百姓源右衛門次男　佳次郎　四十七才

百姓伝七倅　茂三郎　三十二才

〃　次男　仙次郎　二十七才

百姓　猪次郎　〃十八才

○ 百姓国吉郎倅　国吉郎　〃十二才

○ 文哉倅　吉郎兵　〃十四才

○ 同人次男　辰之郎　〃十七才

○ 百姓喜左衛門親類　喜左衛門次男　富之助　四十七才

一　百姓嘉兵衛悴　安之助　当十七才

一　同人弟　常作　十三才

一　百姓利兵衛悴　虎之助　右者親類預ケ

一　同人弟　源之助　十二才

右罪状兼而承知乍之罪科之人数ニ加り申し
疑有之候ハ、伜共ニ誘引之人数
一　諸方度罷越候罪状出入之節余所之悪党侵入
一　病死之者有之候ハ、松内仮死之由風説し
仮死之者有之候ハ、自滅之由
一　平八郎常弓五郎隠家獄中ニ而北人乳母ニ入りし
之月毎茶儀之身ニ入り獄中文字編之上御知
一　交人十二才之形
一　大塩平八郎中之屋某日平八郎自後等割ケ某谷等縁
奉存候処平八郎自ら紀明して切腹セし次

三人集賞恵花罷にあよばしむると行りしこと

〆